

京王線千歳烏山駅 徒歩3分



ひさの矯正歯科

HISANO ORTHODONTICS



「きちんと治す」良質な矯正治療

～患者さんの症状だけでなく、ご希望や悩みを
よく理解した上でお口の中を拝見する～

ひさの矯正歯科 院長 久野昌隆

ひさの矯正歯科 小冊子

はじめに

こんにちは、ひさの矯正歯科/院長 久野昌隆です。

矯正治療を受けたいと思ったとき、どんなポイントを重視して病院を選びますか？「短期間で終わる」「痛くない」「目立たない」など様々です。私たちも患者さんのリクエストに最大限お応えできるよう、準備しています。



その上で「何のための矯正治療か？」と思い返してみると、**表面的な治療方法やアプローチより、「きちんと治す」という基本的なことがとても大切に思えます。**私は 20 年来、情熱を持って矯正歯科臨床・教育・研究を積み重ねてきました。

矯正歯科専門医として、私の信念となる心柱が二つあります。

まず、最初に「患者さんの症状だけではなく、一人の人間としてのご希望や悩みをよく理解した上でお口の中を拝見していくこと」。それを踏まえて次に「一人ひとりの患者さんにオーダーメイドで最良の治療をご提供すること」。

居心地の良い空間にこだわった「ひさの矯正歯科」で、治療を通じ、患者さんと充実した時間を過ごせることを願っております。

当院の5つのこだわり

【1】治療の途中に、工程表を見ながら効果や経過を確認

当院では初診時から「傾聴」の姿勢を持って、患者さんのお話をじっくりお伺いし、無理のない治療計画を立てていきます。また、経過の説明を丁寧に行うために、クリニカルパス（治療の行程表）を作成します。治療の経過とゴールに向かって「今これくらい治っていて、これからこのような治療をして」といったご説明をします。

【2】歯科用 CT 完備、大学病院と同レベルの検査

当院では、治療の方向性の根拠となる分析・診断にとことん力を注ぎます。様々な角度から検査をして、**患者さんの状態を隅々まで把握することで、多くの治療メニューの中から最適な治療法を選び出すことができます。**当院のような地域のクリニックでも、大学病院と同レベルの検査体制を備えることが必要であると考えています。

【3】可能な限り短期間で確実な治療を

当院では、クオリティーの高い治療を最優先にした上で、患者さんの負担を軽減するために、できるだけ短期間で治療が終わるよう心がけています。

例えば、抜歯を伴う矯正治療のケースの場合、通常3年、4年はかかるところを、当院では1年、2年で完了しています。

これは、私の最先端の臨床と研究の現場に携わってきた経験から、効率よく時間の無駄なく治療を進めることができるからです。

【4】的確に優しい力をかけて、痛みの少ない治療

矯正治療は専用器具を使って歯を動かしていくため、治療中は様々な痛みや不快感を伴う場合があります。

矯正治療の痛みを軽減させるために、穏やかな力を与えるのが、最も良いとされています。



この“穏やかな力”について十分理解した上で、患者さんが少しでも苦痛を伴うことなく、治療を受ける事ができるよう配慮しています。

【5】多くの方に治療を受けていただくためのリーズナブルな費用

当院では、良質な矯正治療をより多くの患者さんたちに受けていただけるよう、高度な検査機器、高品質な治療設備、器具、材料を使用しながらも、可能な限り治療費を抑える努力をしています。治療費についてご不安に思われる方は、気兼ねなくご相談ください。

カウンセリング

当院では、患者さんの話に耳を傾ける姿勢「傾聴」を大切にしています。患者さんのご希望やお悩みはもちろんですが、お口の中だけでなく、ご自身やご家族の価値観や治療に臨まれる背景などもじっくりお伺いします。



治療以外の何気ない会話の中で打ち解けると、「歯並びが綺麗になったらこんなことがしたい。」「他の病院でも治療を受けていた。」といった患者さんの希望や本音を聞かせていただくことがあります。それらを踏まえ、お口の状態と骨格・機能などを拝見したうえで、症状や治療法、期間、料金など、一人ひとりの患者さんにオーダーメイドで最良の治療をご提案しています。

治療の経過(クリニカルパス)をきちんと説明する

矯正治療には専門的な知識と技術が必要であり、時間のかかる治療でもあります。そのため、当院では、患者さんへの治療説明をとっても大切にしています。とりわけ経過の説明を丁寧に行うために、クリニカルパス(治療の行程表)を作成します。

■クリニカルパスでわかることって？

治療の節目毎に必要な検査を加え、治療経過と治療のゴールに向かい「今これくらい治っていて、これからこのような治療をして」といったご説明をします。

治療の最後まで、患者さんに十分にご理解いただきながら治療を進行します。

装置を外す根拠もしっかりした診断に基づいて

患者さんからよく「いつになったら装置を外せるのか?」といった質問をいただきます。患者さんの負担を軽くできるという観点からいえば、治療期間の短縮は決して悪いことではありません。しかし、矯正歯科医が治療期間を短くすることばかりに目を向けてしまうと「それは本当に治療を終えていい状態なのかどうか」分析と判断に不足が生じます。

■治療前だけでなく、治療中や完了する前に検査を

治療中や治療が完了する前に検査をきちんと行い、経過と結果をしっかりと把握した上で、治療を完了することも重要なことです。

客観的な視点で「本当に外してよい状態」であるかを見極めることができるか否かが、矯正歯科医の質を決めるといっても過言ではありません。

高精度な検査体制

矯正治療において、治療の方向性を決める“検査・診断”は、非常に重要です。

従来の検査法では、患者さんに最先端かつ最良の治療のためのデータを取得することができない場合があります。

これまでの大学病院での治療経験から、当院のような地域のクリニックでも、多角的な診断を可能にする高精度の検査体制を備えることが必要と考えています。



【歯科用 CT】歯の状態を立体的に捉える

一般的なレントゲン検査の平面的な画像に比べて、CT検査のデータでは、上下の歯列や骨の状態の全体像を立体的に確認できます。

例えば、親知らず(第3大臼歯)の位置や萌出の仕方を確認することもできます。また、撮影範囲を調節すれば、顎関節の位置や形も立体的に捉えることが可能です。



※当院では、歯科用 CT(京セラメディカル PreVista)を導入しています。外部病院・医院様から CT 画像の委託撮影(1 回撮影あたりの患者さんのご負担 ¥5,250)を行っておりますので、詳しくはお問い合わせください。

【顎口腔機能解析装置】噛み合わせの状況を解析する

当院では、必要に応じて顎口腔機能解析装置(MYOTRONICS K7)を使って、噛み合わせの状況を解析します。この装置により、上下の歯を噛み合わせるまでに至る顎の動き、咀嚼運動、筋肉の活動状態などを様々な観点から検査し、問題点を明らかにすることができます。検査中に痛みなどは全くありませんので、ご安心ください。

■ 審美面だけでなく噛み合わせの改善も重要

矯正治療は、歯並びなどの美容的な観点だけでなく、噛み合わせを改善する治療でもあります。噛み合わせは、美味しく食物を食べるためだけでなく、お口周辺にある顎関節や首、肩、腰などの健康とも密接な関わりがあることが解ってきています。

噛み合わせの問題に付随して、イビツで無理のある顎の運動や筋肉の働きをしていると、顎関節症や肩こり、姿勢のゆがみを生じる危険性が高まります。

【咬合力測定装置】咬合力の大きさや前後左右のバランスを算出

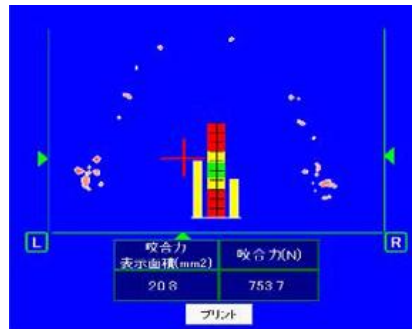
咬合力(こうごうりょく)とは、噛み合わせたときに上下の歯の接触する部分にかかる力のことで、歯並びや噛み合わせに問題があると、食物を噛むときなどに筋肉により発揮される咬合力に影響が出ます。

この咬合力測定装置により、咬合力の大きさや前後左右のバランスなどの問題点を明らかにすることができます。

顎口腔機能解析装置や咬合力測定装置で噛む機能をチェックすることで、噛み合わせや咀嚼の問題点を浮き彫りにすることができます。

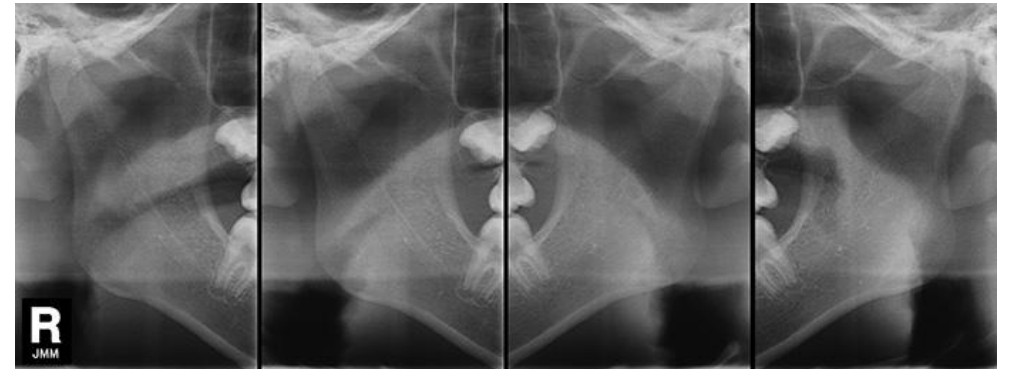
■おおむねよく噛んでいる人の解析結果の一例

赤く着色しているところが噛み合わせた際に接触して力がかかっている部分です。赤の十字は計算された噛み合わせの重心です。やや左に寄っているのが分かります。



【顎関節断層撮影】関節の形や位置を精査する

顎の関節や周囲に痛みやコリがあったり、噛み合わせが不安定で顎の位置が定まらないなどの問題があるときには、顎関節の形や、位置を詳しく調べるために断層 X 線写真を撮影します。



治療期間について

当院では、クオリティーの高い治療を最優先にした上で、患者さんの負担を軽減するために、できるだけ短期間で治療が終わるよう心がけています。例えば、抜歯を伴う矯正治療のケースの場合、通常3年、4年かかる場合を、当院では1年、2年で完了する場合があります。



■なぜ治療期間が短くなるの？

最先端の臨床と研究の現場に携わってきた経験から、効率よく時間の無駄なく治療を進めることができます。また、既存の方法にとらわれることなく、常に最善の治療法を考案して取り入れながら、治療の質を向上させることを追求しています。

■早く動かそうと無理に強い力をかけてしまうと

かえって「痛み」や歯の根っこが短くなる「歯根吸収」といったリスクを抱えることになってしまいます。当院では治療の進行状況に合わせ、きちんとした手順を踏み結果に繋がっています。

インプラントアンカーによる治療

歯の欠損を補うために施されるインプラント治療と同じ原理を応用し、矯正治療の期間中、小さなネジを口の骨の中に埋入する方法です。

骨に固定されているネジの「動かない」という利点を活かし、歯を引っ張るための支柱として利用します。インプラントアンカーによる治療によって、対象の歯を予定通りに動かす確実性が増しました。

生涯にわたり健康的な歯並びと咬みあわせの維持を

人の歯並びや噛み合わせは、生涯に渡って変化し続けるものです。年齢や、ライフステージという様々な要因を受けて歯は動き続け、歯の周りの組織も変わり続けますので、成長期や20代30代の若い世代から将来を見越した予防管理や矯正治療が重要になってきます。



当院では、生涯にわたり年代に即した健康的な歯並びの維持をお手伝いします。

治療の流れ

【1】初診カウンセリングの予約

初診には約 30 分のお時間をいただいています。ご都合のよい日時をご相談ください。平日だけでなく、土曜日や日曜日の予約も可能です。

【2】初診カウンセリング(30分程度)

患者さんのお話をじっくりお伺いした上でご要望や条件などを共有させていただきます。その後、お口の状態と骨格や顎の動きなどを拝見した上で、症状や治療法、期間、料金などについての概略を類似の治療例などを参考にご覧いただきながら説明いたします。

【3】検査(1時間前後)

初診の結果を受けて、必要な検査を行います。具体的には歯型の採得と、レントゲン写真、口腔内写真、顔面写真の撮影、咬み合わせや顎の動き(機能)、虫歯や歯周病の有無、カリエスリスク等を詳細に検査します。



特にお子さんの場合、状態によって治療の開始を遅らせる判断をする場合がありますが、治療を開始するまでの間は半年～1年位の間隔で通院していただき、経過を見ながら矯正治療開始に適した時期を見極めていきます。

■検査内容

レントゲン写真、口腔内写真、顔面写真、歯型採得、顎機能検査、う蝕・歯周病検査 等

【4】診断(約1時間)

検査で取った資料を分析し、的確な診断を行ったうえで治療計画を立てます。患者さんが最後まで無理なく取り組めるよう、患者さん一人ひとりのために整えたオーダーメイドの治療計画とクリニカルパス(治療の行程表)を作成します。



■検査時にお渡しする資料の一例

- 矯正歯科治療説明書 ●診断報告書 ●顎口腔機能解析 ●模型分析
- カリエスリスク検査結果報告書(虫歯のなりやすさ)



【5】治療開始

装置を装着し矯正治療を開始します。患者さんによって違いはありますが、クリニカルパス(治療の行程表)に従い、節目毎に再評価をいれながら1~3年程度、矯正装置を装着していただきます。

■抜歯が必要な場合

症状からどうしても抜歯を検討する必要がある場合も、歯を抜くことで得られるメリットとデメリットや状況を慎重に見極めたうえで判断します。抜歯をするには適した時期があるため、治療の経過を見ながらタイミングを決めていきます。

■お子さんの場合

これから旺盛な成長・発育を見せる子供の時期には、上下の顎の関係を是正することができるのが大きなメリットの1つです。また、正常な成長発育を妨げるような歯並びや咬みあわせは、早期に問題解決をはかることを計画します。(外科的矯正治療を除く)

■矯正治療中で大切なこと

矯正治療は定期的に歯の状態を確認し、適切な装置の調整を行うことがとても重要となります。そのため、固定式の装置を入れている患者さんには必ず3~4週間に一度程度の通院をお願いしています。

【6】終了前検査(約1時間)

歯並びや咬みあわせがある程度整ってきたタイミングで状態を慎重に検査し、矯正装置を外す時期を決定します。

患者さんと一緒に治療前と現状の検査資料を比較して、問題が残っていないか、目標とするコンディションに到達したかなどを確認し、今後を予測分析したうえで保定の時期・方針を固めていきます。



【7】保定観察

装置を外した後は「後戻り」を防止するための装置を装着していただく「保定期間」に入ります。保定装置を付ける期間は、矯正装置よりも長い場合がありますが、それだけ保定期間は歯並びを末永く維持するために重要であるということを意味します。

保定期間初期は3~4か月に一度、その後、状態に合わせ半年~1年に一度、通院していただきます。



装置の種類

大人の矯正装置の例

■透明なブラケット+ミニクリッピー

主に永久歯列に使用します。奥治療の進行に伴いブラケットを付け替える際の痛みがほとんどないため、患者さんには楽な装置です。



■審美性の高いクリッピーC

前歯にも審美性が高く、かつ歯の移動の速いセラミック製セルフライゲーションブラケットを使用します。



■白く目立たないブラケット+ゴールドワイヤー

白く目立たないブラケットにゴールドワイヤーを使用します。光に対する人の歯の反射に馴染む色の組み合わせとされています。



■白く目立たないセラミックブラケット+白いワイヤー

白く目立たないセラミックブラケットに白いワイヤーを使用します。審美性にこだわった装置のため、日本人の歯とよくなじみ、同化します。



Photos courtesy of TP Orthodontics, Inc.

■目立たないミニクリッピーL

歯の裏側(舌側)の装置です。従来は歯の表側の装置に比べると調整に時間がかかり、治療期間も大幅に長くなっていましたが、セルフライゲーションタイプのもので開発されてきたため、以前よりは歯の移動が速くなりました。



■マウスピース

固定式の装置を着けることなく、マウスピースを交換していくことにより、歯を移動できる場合があります。(歯の移動様式に限界があるため、適用できるかどうか、患者さん毎に良く検討する必要があります。)





■床矯正装置(プレート)

着脱式で、食事するとき以外に装着します。写真は、矯正治療後の歯の位置を安定させる期間に使用する保定装置(リテーナー)です。



ネジやスプリングを付加することにより、簡単な歯の移動も行うことができますが、本格的な矯正治療を行うことはできません。

「床矯正装置」は、矯正治療の一手段です。この装置だけで治療しようとする、いわゆる「床矯正」を専門医は行いません。あくまで補助的、限局的治療用とお考えください。

子供の矯正装置の例

■機能的顎矯正装置(F.K.O.・アクチベーター・アクチバトール)

主に成長期の患者さん自身の咀嚼筋(そしゃくきん)の力によって歯を動かしたり、顎の成長をコントロールして、骨格性の問題を解消する装置です。成人の患者さんの治療でも一部噛み合わせの深さのコントロールなどのために使用場合があります。(取り外し式で、主に就寝時に使用。)



■バイオネーター

主に成長期の患者さん自身自身の咀嚼筋(そしゃくきん)の力によって歯を動かし、歯列を拡げたり顎の成長をコントロールして、骨格性の問題などを解消する装置です。歯列を拡大する効果もあります。(取り外し式で、主に就寝時に使用。)



■緩徐拡大装置(クワドヘリックス)

歯の裏側の針金を徐々に調節することにより比較的ゆっくり歯列を拡大する固定式の装置です。(装着期間は6か月～1年程度)



■急速拡大装置(R.P.E)

2週間～1か月の間、毎日ネジを回すことにより、左右の奥歯を支えにして上顎骨を拡大する固定式の装置です。(装着期間は3か月程度)床矯正装置などでは難しい、骨からの拡大を確実に行うことができます。通常、成長期の患者さんに使用します。



痛みの少ない矯正治療

矯正治療は専用器具を使って歯を動かしていくため、治療中は様々な痛みや不快感を伴う場合があります。



■ 痛みの原因は？

痛みの原因は、歯を支えている組織【歯根膜(しこんまく)】にかかる圧力によるものです。矯正治療では、矯正用ワイヤーなどによって歯根膜に圧力をかけて、歯を動かしますが、その際、歯が締め付けられるような痛みが発生します。

■ 矯正治療の痛みを軽減させるために、穏やかな力を与える

歯は穏やかな力を与えゆっくり動かすことが理想です。この適度で穏やかな力を十分理解している医師の治療は、強い痛みを伴いません。当院では、患者さんが少しでも、苦痛を伴うことなく、治療を受けていくことができるよう配慮しています。

痛みを減らす矯正装置について

■ 柔らかい矯正装置【超弾性ワイヤー】

超弾性ワイヤーは「形状記憶合金」でできており、普通の針金に比べて、「弱い力で大きくしなる」といった特徴があり、歯に強い締め付けを起しません。当院では、矯正装置に超弾性ワイヤーを使用することで治療による痛みの軽減を図っています。



目立たない矯正

当院では、患者さんのご要望を最大限に尊重しながら、きちんと治すための最適な治療法を提案いたします。

「工作上、矯正装置を着けられない」「装置が目立つのが気になる」「矯正していることを知

られたくない」そんなお悩みをお持ちの方は、お気軽にご相談ください。



歯となじむ、透明な装置と白色や金色のワイヤー

矯正治療といえば、ギラつく金属製の装置が思い浮かぶかと思います。しかし、近年目立たない素材の物が次々と登場しています。

中でも透明なセラミックや特殊プラスチックでできている装置は、白色や金色のワイヤーと

組み合わせることで歯とよくなじみ、ぱっと見ただけでは気が付かないほど目立ちにくいことが特徴です。



裏側矯正を考える前に、ご注意いただきたいこと

治療中、矯正装置やワイヤーが目立たないということから、裏側矯正を希望する患者さんが増えてきました。しかし、難しい症例をより効果的に矯正する場合、治療手段を限定することなく、表側にも装置を付けて治療するべきと考えています。

裏側矯正をする前に、費用対効果は十分か、治療期間は延長するのか、1回の治療時間などについてよく見極めていただいた上で治療をご検討していただくことが大切です。

【裏側矯正のメリット】

- ・矯正装置や付属器具は表に出ず、目立たない。

【裏側矯正のデメリット】

- ・表側矯正に比べると装置が邪魔し、話す・食べるがやや困難になる。
- ・表側矯正よりも時間と料金がかかる傾向がある
- ・難しい症例では最良の結果が出ない場合がある。

重要なことは、裏側か表側かということではなく、患者さんにとって何がベストかということです。当院では、患者さんに合わせた、きちんと治す治療をさせていただきますので、まずは一度ご相談ください。

矯正中の虫歯予防

取り外しのきかない矯正装置を着けている場合は特に、お口の中に食べカスが残り、虫歯や歯肉炎になりやすくなるのが心配です。

虫歯の状態によっては矯正歯科治療を中断せざるを得ない場合もあり、治療期間が長引いてしまうこともあります。

当院では、そのようなことにならないよう、矯正治療中の虫歯予防にも力を注ぎ、様々な方法で患者さんにあったサポートをしています。治療中に使用する、歯ブラシや補助器具、歯のクリーニングなどは一部を除き無料です。



矯正治療中の虫歯予防メニュー

■唾液検査

治療を始める前の検査の一環として、お口の中のう蝕(虫歯)リスク検査を実施しています。う蝕は細菌による感染症であり、お口の中の状態と細菌量や唾液の性質などを測定できる検査を基に、総カリエスリスクを把握することが感染予防の第一歩です。

■ブラッシング指導

唾液検査の後、リスクに応じた専用歯ブラシや、補助的器具を使って磨き方の指導を行います。磨き方については具体的に、ブラッシング圧や歯磨き時間、歯磨き粉の性質や量などについてお話しています。



■歯のクリーニング

歯ブラシ、デンタルフロスなどによる歯のクリーニングはもちろんのこと、歯科医院でしかできない専用器具とフッ素やハイドロキシアパタイト、カルシウム配合のペーストを用いた、高度なクリーニングによって歯面のプラークや歯石・着色を除去します。

■フッ素塗布

歯科医院専用のより効果の高いものを塗布いたします。エナメル質の構造を安定させる効果があるため、う蝕への抵抗性の向上が期待できます。塗布後、30分はうがいはできません。塗布するフッ素には味が付いており不快感はありません。



■フッ素洗口

ブラッシングの効果がなかなか上がらない患者さんに対しては、ご家庭で就寝前にフッ素配合の洗口液による歯のすすぎを行なっていただきます。

残ってしまっている汚れやプラークにもフッ素が浸透し、徐々に放出されることにより、う蝕を予防します。

※有料:1 か月分 945 円(税込)

■ホワイトニング

ホワイトニングは、歯の表面にホワイトニング剤を塗布し、歯磨きや歯のクリーニングでは落ちない加齢や遺伝による歯の黄ばみ、色素を分解して歯を白くしていく方法です。天然の歯を白くしていくため、自然な色の仕上がりになり、笑顔の魅力度が格段にアップします。なお、歯を削ることは一切ありません。

子どもの矯正について

矯正治療をするなら、なるべく子どもの内に済ませてあげたいと思う親御さんは多いと思います。しかし、治療を始めるベストなタイミングというのはやはりケースバイケースです。

当院は、無理に早い時期から矯正治療を始

めることはあまりしません。もし治療が必要でなければ、必要ないことをしっかり伝えて親御さんの不安を取り除きます。



お子さんの矯正治療を始めるタイミングは？

お子さんの矯正治療を始めるタイミングは個々の症状によって変わってきますが、当院の場合、最も早いものでも、はえかわりによる自然治癒を望むことができなくなった 6、7歳から始めます。

この年齢はちょうど、前歯が乳歯から永久歯への生え変わる時期であるため、早期の矯正治療を検討するには、一番良い時期といえます。

いずれにしても、お子さんの歯並びにご不安をお持ちの親御さんは、早めに専門医の診断を受けることをおすすめいたします。

子どもの矯正のメリットは？

矯正治療は数年に渡り定期的に通院する必要があるため、社会人のように時間的な制約が多い方よりも比較的時間に自由度があるお子さんの方が治療を受けやすい環境にあります。

また、何よりも顎骨の成長をうまく治療に活用すれば、歯が動きやすいだけでなく、効率的かつ最良の治療結果が得られます。また、永久歯の治療に移行する際、治療期間が短縮し、抜歯しないで済む可能性が高くなります。

■セカンドオピニオンも行っています

他院での診断に疑問をお持ちのご家族でも、セカンドオピニオンとして当院の診断を受けていただくことも可能です。お子さんの歯の状態をしっかりと診させていただき、「こういう状態になってきたら危ない。」「こういう発育をした場合は大丈夫。」というアドバイスをさせていただきます。



子どもの矯正の流れについて

お子さんの矯正は、成長の過程を考慮した次の2つのステップに分けて行われます。

■第Ⅰ期 小学生の矯正治療

顎の形も大きく変わっていく育ち盛りの時期のお子さんにおいては、永久歯が生え揃っていない場合は、まず、顎の骨を正しく成長させ、歯をしっかりと支える土台としての機能を持たせる治療がメインとなります。また、歯並びや咬みあわせに悪影響を及ぼすクセ(習慣:舌を出す、唇を咬む、口で呼吸する、指しゃぶりなど)を修正できるのは成長期の早い時期です。

歯の土台を整えていくことで、将来的に抜歯しないで済む可能性が高くなります。

大人と違い、小さなお子さんの場合は治療法もそれぞれ大きく変わりますので、ご不明な点などがあれば、お気軽にご質問ください。

■第Ⅱ期 中高生の矯正治療

中学生～高校生になると、歯と骨がしっかりしてくるため、大人と同じ矯正治療が可能になります。第Ⅰ期で歯の土台をしっかり整えておくと、通常大人の矯正よりも治療期間が短く済むというメリットもあります。

こだわりの院内設備



「ここって、おうちみたいだねー」当院に初めて入ってきた小さな女の子の言葉です。その言葉が表すように、当院の待合室は、家のリビングルームのようなリラックスできる空間を意識して作りました。また、当院の治療の「質」をご理解いただけるよう、空間の質感にもこだわりました。

矯正治療は1年2年...と長い期間がかかるので待合室の居心地はとても大事だと思っています。そこで私たちが考えたのは「体に優しく、くつろげる空間づくり」。治療の前後の時間もくつろいでいただける、「居心地のよいクリニック」でありたいと思っています。

すべて天然・自然素材の院内

院内はすべてケミカルフリーで作られています。

化学的な建材や塗装剤などは使用せず、体に優しい素材にこだわって使用しています。

たとえば、壁や天井には鹿児島火山灰から作られた中霧島壁という消臭機能や調湿機能

などを備えた素材や、チャフウォールというホタテ貝の殻を使用した素材を使っています。

床も合板などは使用せず、無垢のメープル材であつらえ、各ユニットを区切る半個室の

壁にはせっ器質タイルを使用しています。



■無機質さ感じさせない家具

アンティークで揃えた昔のイギリスの椅子などの座り心地を楽しんでいただきながら、くつろいで過ごしていただければと思います。



おわりに

いかがでしたでしょうか。当院が一番大切にしている「きちんと治す」良質な治療について、治療の流れや考え方、高度な技術、強みについて少しでもご理解いただければと思い、この冊子をご用意させて頂きました。

私は 20 年以上にわたり東京医科歯科大学に勤め、研鑽して参りました。これまで 3,500 件以上の治療実績があり技術力、経験共に自信をもっております。

また、「認定医」「指導医」として学会から正式な認定を受けております。特に「指導医」は、厳しい条件をクリアし、かつ認定審査に合格する必要がある為、現在全国歯科医師 90,000 人の内わずか約 600 人しかいません。

これまで指導医として後輩たちの育成にも熱心に取り組み、今も開業医として活躍するかつての教え子たちから、数々の相談を受けています。私にとって本気で向き合った教え子たちは何にも代えがたい財産となっております。

私にとって、矯正歯科とは「終わりのない追求」を意味します。矯正治療の世界では日々新しい技術が生み出されており、そういう技術・手法も含め新しく見出した情報は自分で

も積極的に発信して、患者さんにとって利益のあることは伝え、変えていくべきという姿勢を取っています。まさに毎日が試行錯誤の連続です。

居心地の良い空間にこだわった「ひさの矯正歯科」で治療を通じ、患者さんと充実した時間を過ごせることをこれからも願っております。

ひさの矯正歯科

院長: 久野 昌隆



■主な所属団体・学会

東京医科歯科大学 非常勤講師(大学院咬合機能矯正学分野)

口腔病学会(評議員)日本矯正歯科学会(査読委員)

東京矯正歯科学会・日本顎変形症学会・日本口蓋裂学会

World Federation of Orthodontists (Fellow)

日本歯科医師会・東京都歯科医師会・

世田谷区歯科医師会(平成 21 年～ 歯科公衆衛生常任委員会委員)



■資格

- 昭和 63 年 第 81 回歯科医師国家試験合格
- 平成 5 年 日本矯正歯科学会 認定医
- 平成 10 年 博士(歯学)の学位授与(東京医科歯科大学)
指導:相馬邦道教授
- 主論文 Energy-based Re-evaluation of Angle's Class I Molar
Relationship Journal of Oral Rehabilitation
26:830-835 1999.(共著)
- 副論文 Energy-based Evaluation of Occlusion Journal of Oral
Rehabilitation 26:25-32 1999. (共著)
咬合終末期における顎運動経路の形成に対する力学的考察
日本顎口腔機能学会雑誌 3:115-119 1997. (共著)
- 平成 13 年 日本矯正歯科学会 指導医

■受賞

- 平成 12 年 第 59 回日本矯正歯科学会学術大会 優秀発表賞(共同)
- 平成 14 年 第 78 回ヨーロッパ矯正歯科学会 最優秀ポスター賞(共同)
- 平成 15 年 第 62 回東京矯正歯科学会学術大会 優秀発表賞(共同)

■学歴・職歴

- 昭和 63 年 長崎大学歯学部卒業 東京医科歯科大学歯学部歯科矯正学第 1 講座
専攻生過程入学(三浦不二夫教授)
- 平成 4 年 医員 採用
- 平成 8 年 文部教官 助手 採用
- 平成 10 年 卒後教育担当(矯正歯科 ~平成 13 年 3 月まで)
- 平成 12 年 医局長 (~平成 14 年 3 月まで)
- 平成 12 年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科技工士学校 非常勤講師 併任
- 平成 13 年 東京医科歯科大学歯学部附属歯科衛生士学校 非常勤講師 併任
- 平成 14 年 講師 昇任
- 平成 14 年 卒後教育担当(矯正歯科 ~平成 16 年 3 月まで)
- 平成 15 年 矯正歯科外来 外来医長 (~平成 19 年 3 月まで)
- 平成 17 年 矯正歯科外来 副科長 (~平成 19 年 3 月まで)
- 平成 18 年 助教授 昇任
- 平成 19 年 准教授
- 平成 20 年 東京医科歯科大学 退職
- 平成 20 年 11 月 ひさの矯正歯科 開設

ひさの矯正歯科

【住所】〒157-0062

東京都世田谷区南烏山 5-20-16

ヴィオラ烏山 2F

【電話番号】0120-978-040



【診察時間】

午前	10:00～12:30
午後	14:30～19:30

休診日:木・日・祝

【アクセス】

●京王線「千歳烏山駅」南口より徒歩 3 分